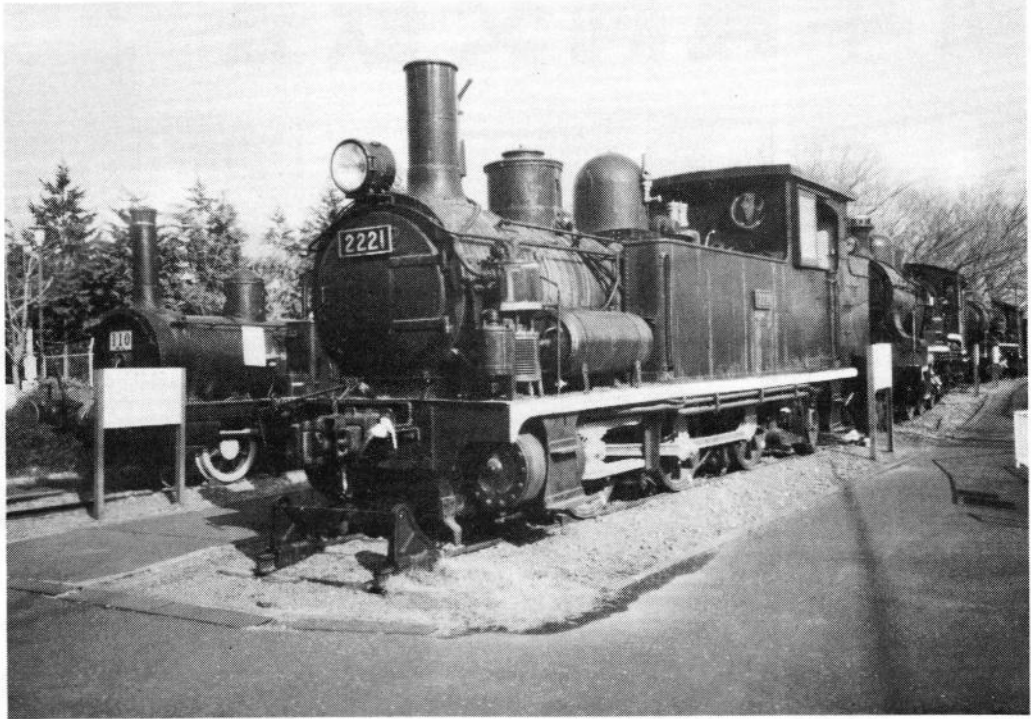


西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第278号 平成8年2月



西多摩の風景『青梅鉄道公園』 玉木一弘

目 次

	頁		頁
1. 平成8年度 新年賀詞交歓会開催		5. 花粉症について	石井好明 … 14
	広報部 … 2	6. お知らせ	事務局 …… 17
2. 理事会報告	広報部 … 5	7. 平成8年度診療報酬請求書 提出日一覧表	事務局 …… 17
3. 会員通知・医師会の動き	事務局 … 8	8. 表紙のことば	玉木一弘 … 18
4. 各部だより		9. あとがき	奥野 仁 … 18
学術インフォメーション	学術部 … 9		
三公立病院外来担当表	広報部 … 11		

平成8年度 新年賀詞交歓会開催



会長あいさつ



乾杯



来賓紹介、挨拶

新年賀詞交歓会が1月20日(土)午後6時30分より、青梅福祉センター『ふよ間の間』にて開催された。賀詞交歓会は西多摩地域の保健、福祉、医療の充実、発展をめざす当医師会事業の推進に関わりの深い各分野の行政機関、団体の長と西多摩医師会員が一同に会し、相互理解を深め、忌憚のない意見交換を行う場として開催されている。今回も都議、自治体首長、保健所長、警察及び消防署長、西多摩歯科医師会長、西多摩接骨師会長ら来賓者21名をはじめ80名の出席を得て、玉木理事の司会により松原会長、来賓の挨拶に始まり、ジブシーバイオリンのアトラクションをはさみ活発な意見交換が行なわれ盛会となった。保健所の統廃合、保健行政の市町村移管、あきる野市発足、昨年の阪神大震災を振り返っての災害対策などの話題が多く聞かれた。本年も西多摩に幸多からんことを願い新春福引を締めくくりに、宮川副会長の挨拶で会はお開きとなった。

(広報部)





アトラクション



宮川副会長 閉会あいさつ

理事会報告

★ Information

1月定例理事会

平成8年1月23日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

(I) 都医地区医師会長協議会報告(1月19日) (松原会長)

1. 都医からの伝達

冒頭に『一期一縁 異体同心』との福井会長から年頭所感の表明があった。

(1) 新指導大綱及び新監査要綱について

★ これまでの指導監査は「社会保険医療担当者指導大綱について」(昭和32年7月制定)と「社会保険医療担当者の監査について」(昭和28年6月制定)に基づいていた。

新監査要綱が平成7年12月に改正され、8年4月実施される。

新要綱では新規開業者は、一年以内に集団指導を行う。

高点数者は選定委員会(行政保険部職員)→集団的個別指導(2年観察)→高点数持続→個別指導→監査(注意、戒告、取消し等)となる。

(2) 健やかTokyoについて

各地区医師会「広告」は掲載料金下記にて順次掲載する。(前号に既報)

1回について 17万(広告掲載のみ)

1回について 20万(広告掲載+「健やかTokyo」3000部)

(3) 平成8年度地域産業保健センターの設置について

平成5年度より設置開始し現在全国141ヶ所に設置されている。

東京では現在、大森、北区、葛飾医師会3ヶ所に設置されている。

平成8年度は5ヶ所に設置(新宿、江戸川、板橋、品川等)される。

さらに平成9年度迄に18ヶ所を新設予定。

(4) 訪問看護ステーション等の設置状況について

新規開設は8ヶ所、計84ヶ所となった。(内 医師会立は18ヶ所)。

2. 地区医師会からの報告

(1) 医薬品副作用被害救済・研究振興基金の投薬証明書の対応について(調布市医師会)

★ 現在、医師が適正に使用したにも拘らず副作用が発生し(中央薬事審判定部会で認定)、入院加療をしたものについて、月35,000円(見舞金で賠償金ではない)を給付しているが、問題発生時には日医医事紛争への同時付託を勧奨する。

(II) 新年賀詞交歓会報告及びクリスマス会報告 (玉木理事)

クリスマス会(前号既報)205名出席、新年賀詞交歓会(別掲記事)72名の出席で盛会に終わった。

(III) 地区医師会生涯教育担当理事連絡会報告等

(小机理事)

★ 12月18日都医にて開催。都医全体では申告率は低下している。申告率の低下は将来、何らかの規制に結び付く可能性もあり、生涯教育申告書の提出を積極的に勧奨願いたい。

(IV) 首長代表との昼食会(平成8年度各種報酬等回答)報告

(大堀理事)

1月17日、役員3名、青梅市長、瑞穂町長の出席にて、平成8年度各種報酬について課長会(案)の通り(12月号既報)最終回答があった。

(V) 各部報告

(担当部長)

(学術部) 2月24日(土) 2時~5時 秋川ルピアホールにて、糖尿病に関するパネルディスカッションを開催するので協力願いたい。(学術インフォメーションに案内)

(VI) 各地区会よりの報告

(各地区長)

(福生) 1月31日、地区理事連絡会を行う。
(日の出) 当面、休日診療は祝日昼間のみ行う。
(羽村) 1月16日、新年会を行った。

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について

— 承認 — (真鍋理事)

(II) 平成8年度小、中学校医、保育園園医推薦について

— 承認 — (樋口理事)

平成8年度青梅市立小、中学校学校医の推薦者

《小学校》

- 1 小 平岡克彦・笹本隆夫
- 2 小 細谷純一郎・荒巻武彦
- 3 小 百瀬真一郎
- 4 小 土田守一
- 5 小 藤野芙美子
- 6 小 藤野芙美子
- 7 小 堀田洋夫
- 8 小 } 8小、9小、10小の
- 9 小 } 遠山泰策 統廃合により平成8年
- 10 小 } 度は成木小1校となる
- 河辺小 福原清・成田章
- 新町小 野本正嗣・大堀洋一
- 霞台小 市原靖
- 友田小 小澤昌彦
- 今井小 唐橋善雄
- 若草小 足立卓三
- 藤橋小 百瀬真一郎
- 吹上小 小林杏一

《中学校》

- 1 中 森本 晋
- 2 中 井上 勇之助
- 3 中 鈴木 良亮
- 西中 江本 虎雄
- 6 中 堀田 洋夫
- 7 中 中林 敬一
- 霞台中 吉野 住雄
- 吹上中 鈴木 穆
- 新町中 石田 信彦
- 泉中 吉野 住雄

《その他》

- 1 小 眼科 後藤 伸
- 耳鼻科 竹内 靖信
- 2 小 眼科 三田 哲夫
- 4 小 耳鼻科 三枝 進

平成8年度瑞穂町立保育園園医の推薦者

町立 石畑 保育園 高水 松夫 町立 むさしの保育園 波多野 洋夫

(III) 東京都立学校産業医の推薦について

— 承認 —

(奥野理事)

東京都立学校産業医の推薦者

多摩	田中穂積	内科	秋川	川崎健一郎	内科
青梅東	片平潤一	内科	多摩工業	玉木一弘	内科
福生	山田正哉	内科	農林	道佛晶子	内科
秋留台	樋口昭夫	内科	瑞穂農芸	丸野仁久	内科
羽村	松原貞一	内科	羽村	横田卓史	内科
五日市	杉本一	内科			

【3】 協議事項

(I) 定時総会関係について

(真鍋理事)

平成7年度第2回定時総会では、平成8年度事業計画案及び予算案、次期本会役、委員の選任、『あきる野地区』発足に係る定款施行規則の改正について議案提出する。定款施行規則に関するその他の検討事項とくに役員選出法については、会員アンケート結果や地区間で賛否にかなりの意見の相違があり、また今後改正を前提とした場合でも具体的な案文の作成は相応の検討期間を要すること等から、互助会やB会員の取り扱いの問題も含め継続協議事項とし次期執行部に引き継ぐ。次期本会役、委員の選出、選任については下記日程で行う。

2月16日(金) 告示 (理事及び監事・医道審議会委員選出、選任)

3月8日(金) 定例理事会 事業計画、予算承認

各地区長、公的病院代表者は理事会へ選出者届出。役員選出締切。

3月9日(土) 地区長会開催 (監事、医道審議会委員の選出)

3月11日(月) 新旧理事、医道審議会委員会議 (役職等の選出)

3月23日(土) 平成7年度第二回定時総会

(II) 各部の事業計画、予算提出について

(担当理事)

2月8日、定例理事会までに各部案を提出する。

(III) 新年度保険整備委員会日程について

(石田理事)

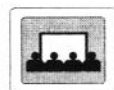
別掲記事参照。

(IV) その他

◎地区会補助金の件

あきる野地区への地区会補助金を、年額9万円とする。

各部だより


学術部
Information

《2月の学術講演会》
① 2月24日(土) 午後2時～5時
場 所：あきる野ルピア3階 ルピアホール
(あきる野市秋川1-8、JR五日市線秋川駅北口より徒歩3分、駐車場あり)
第2回パネルディスカッション『糖尿病』
－インスリン治療：適応・導入・管理の手引き－

西多摩医師会学術部では、下記の如くパネルディスカッション「糖尿病」を開催致します。昨年1月に行いました第1回開催の折には、多数の医療・保健・福祉関係者の方々にご参加いただき、活発な討論でずいぶん盛り上がりしました。

今回はテーマを「インスリン治療：適応・導入・管理の手引き」と致しました。パネリストには、専門医・開業医・眼科医・薬剤師、さらに保健婦・看護婦の方々を選ばせていただきました。皆、実地経験豊富な方々です。討論にも熱が入ると思います。また、どんな質問にもお答えいただけると思います。

ご多忙中とは存じますが、関係者の皆様お誘い合わせの上、是非ご出席賜りますようご案内申し上げます。

〈プログラム〉
パネルディスカッション『糖尿病』－インスリン治療：適応・導入・管理の手引き－
司 会：小 机 敏 昭 (西多摩医師会学術部部長)
〈演題名〉

- | | | | |
|--------------------------|--------------|---|-------|
| 1. インスリン治療の適応 | 青梅市立総合病院内科 | 原 | 義 人 |
| 2. インスリン製剤について | 中村薬局薬剤師 | 中 | 村 雅 男 |
| 3. 低血糖について | 笠井クリニック | 笠 | 井 富貴夫 |
| 4. インスリン投与量の調整と自己血糖測定の意義 | 公立阿伎留病院内科 | 高 | 村 宏 |
| 5. インスリン治療－開業医の経験 | 大河原森本医院 | 森 | 本 晋 |
| 6. インスリン治療－家庭での問題点 | 日の出町役場衛生課保健婦 | 中 | 西 ヒロ子 |
| 7. インスリン注射手技と指導法 | 公立阿伎留病院看護婦 | 曾 | 根 幹 子 |
| 8. 眼科とインスリン治療 | 馬 詰 眼 科 | 馬 | 詰 良比古 |

② 2月27日(火) 7³⁰pm～ 於：西多摩医師会館講堂

演題名：「呼吸器疾患の在宅酸素療法について」

講 師：社会保険中央総合病院呼吸器内科部長 徳 田 均 先生

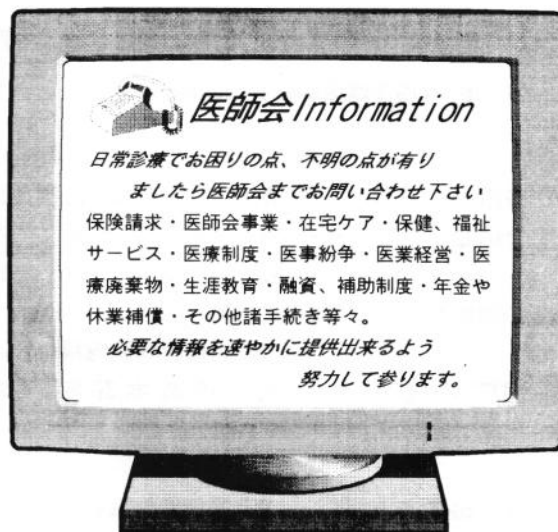
徳田先生は、1973年東京大学医学部卒業、癌研附属病院・結研附属病院等にて呼吸器疾患専攻、1991年より現職、主な論文には、「Thin slice CTにて主腫瘍周囲に散布性粒状影を認めた肺原発悪性リンパ腫の1例」、「肺野型小型肺癌の画像診断」、「肺野型扁平上皮癌のX線像と病理形態」、「小型肺癌と結核腫の画像による鑑別」、「呼吸器感染症の診断—画像からどのように診断するか」、などがあります。現在、日本気管支学会指導医、日本胸部疾患学会認定医、日本結核病学会関東地区評議員、今回はこれから増えるであろう在宅酸素療法につき、全般的な話、として御講演いただきます。大いに役立つ内容と思います。

③ 3月5日(火) 7³⁰pm～

演題名：「逆流性食道炎」

講 師：東京都立駒込病院消化器内科 門 馬 久美子 先生

詳細は後日、御案内いたします。



広報部

公立阿伎留病院 外来担当表

平成7年12月1日 現在

		月	火	水	木	金	土
内科	1	馬場	丹保	西成田	馬場	瀬戸	
	2	清水	江本	瀬戸	川俣	青山	
	3	古屋	高村	高村	滝口	小野	
	4	平沼	馬場	佐野	平沼	佐野	
血液透析	午前	瀬戸	瀬戸	川俣	青山	古屋	
	午後	瀬戸		瀬戸		瀬戸	
	夜間	青山		川俣		古屋	
専門外来			呼吸器(平沼)	血液・膠原病(西成田)	喘息・在宅酸素療法	糖尿病(高村)	
			糖尿病(高村)	消化器(滝口)	(佐野)	糖尿病(小野)	
			循環器(江本)		血液(馬場)		
人間ドック		馬場			瀬戸	馬場	休
小児科 専門外来(午後)	政	政	政	政	政	政	
	岩本	岩本	岩本	岩本	岩本	岩本	
外科 (形成外科)	鈴木	藤田	藤田 寺田	鈴木 (小澤)	鈴木 (藤田)	鈴木 浅野	診
整形外科 (特別診)	小谷野 沼部	沼部 船崎	沼部 相原	小谷野 相原	小谷野 船崎		
脳神経外科	前村	時津	前村	宮崎	藤塚		
皮膚科 (午後診)	宇都宮	宇都宮	宇都宮	宇都宮	狩野		
泌尿器科	朝岡	一瀬	朝岡	朝岡	朝岡		
産婦人科	森田 斉藤	森田 吉村	森田 斉藤	森田 斉藤	斉藤 葉梨		
眼科	秋山	市橋 秋山・高岡(手術)	内山 秋山・市橋(手術)	市橋	秋山 市橋		
	予約検査	コンタクト定製	予約検査	予約検査	蛍光眼底検査予約		
耳鼻咽喉科	宮崎	宮崎	宮崎	大塚	宮崎		
	河合	一川	河合	河合	河合		
歯科	長谷川	長谷川	長谷川・秋山	長谷川	長谷川		

午後診療は予約を要します。

外科の()は、検査終了後、外来勤務とする。

青梅市立総合病院 外来担当表

平成8年1月1日 現在

診療科	月	火	水	木	金	備考
内科	桜井(徹)大玉	高野山	笹野大玉	高野山	高野山	専門別担当医 循環器病 坂本・金沢・芦川 呼吸器病 今川・高野・大玉 消化器病 宮川・細井・本田 血液病 青木 リウマチ病 桜井(徹) 膠原病 栗山・石橋 腎臓病 原・桜井(紳) 甲状腺病 糖尿病 松本 神経内科
(新患)	宮川	桜井(徹)	石橋	桜井(紳)	石橋	
内分泌代謝科	原	原	桜井(紳)		原	
腎センター	栗山		石橋	栗山	石橋	
消化器科	宮川	細井	本田	宮川	細井	
循環器科	坂本	芦川	金沢	坂本	芦川	
外科	正木	山田	宇田	宇田	山田	
胸部外科	佐野	中浜	藤田	森田	佐野	
脳神経外科	森	宮崎	埼玉医科大学 大塚外局	鬼頭	宮崎	
整形外科	乙真田	堀大田	酒真井田	堀酒田	乙大田	
産婦人科	妊婦	高野	池上	陶守	富永	原小田
	婦人科 10時～	富陶原	永守田	高池小富	野上野永	高池原小
皮膚科	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	田嶋	
泌尿器科	友石	佐藤(購)	三上	友石	友石 (石井(購) 古屋(購))	
小児科	林友 崔	北水 浦岸	林友 岸	崔 浦岸	林友 浦	
眼科	瀬秋 山口	瀬秋 山口	医科 歯科	瀬秋 医科 歯科	秋山	
耳鼻咽喉科	1.3.5 2.4 橋本 石川	石橋 川本	1.3.5 2.4 石川 石田	1.3.4 2 橋本 石川	石橋 川本	
神経科	新患	横山	石黒	萩田	落合	山横 本山
	再病		山落 本合	石黒	山落 本合	石黒
	来病	横山		萩田		横山
放射線科	野山(診) 佐山 藤本	佐山 藤本	佐山 藤本	佐山 藤本	佐山 藤本	
理学診療科		藤本	藤本	藤本		
口腔外科	吉田	友野 (佐野 大河原)		高久	友野 (高久 大河原)	

※ 内科の は予約

東京都国保連合会 福生病院 外来診療担当医表

平成8年1月1日 現在

曜日		月	火	水	木	金
科別						
内科	午前	粟原 船江 井沢	粟原 梅田 松	森原 小関	北島 梅田 岡	森島 北江 熊谷 (第1.3.5週) (第2.4週)
	午後	神経内科 森野 膠原病 日野 糖尿病 北島		甲状腺 木下	高血圧 熊谷 呼吸器 梅田	神経科 (交互) 原 中村
外科		豊泉	諸角 堀	柴田	諸角	池田
エコー		内科	池田	豊池 泉田	豊泉 第2.4.5週 柴多 第1.3週	柴多
内視鏡		柴多	豊泉 柴多	豊泉 池田	池田	諸角 豊泉 堀
整形外科		柴崎 吉田	小野 白田	柴崎 吉田	白田 山村	山村 小野
皮膚科	午前	上條	上條	長島	上條	上條
	午後	子供外来 凍結外来	手術日			
眼科		北島	手術日の為 外来は休診 午後 コンタクト外来	北島	北島	北島
耳鼻咽喉科		午前中 慶応大学 補聴器 大和田 (第1.3週)	休診	休診	午後 慶応大学	午前 慶応大学
小児科	午前	笠井	木津	中村	杉森	松山
	午後	長期外来 松山 (第3週休み)		予防注射 中村	乳児検診	喘息 (1週・3週) 伊藤
婦人科		鈴木	鈴木	小島	酒井	牧田
産科		小島	小島	酒井	牧田	小島
泌尿器科		石黒	石黒	石黒	高梨	石黒
脳外科		中川	脳科 休診	中川	休診	中川
			ペリナリニク子約 麻酔科			

花粉症について

(青梅市健康センター人間ドック 第7報)

青梅市健康センター嘱託 石井好明

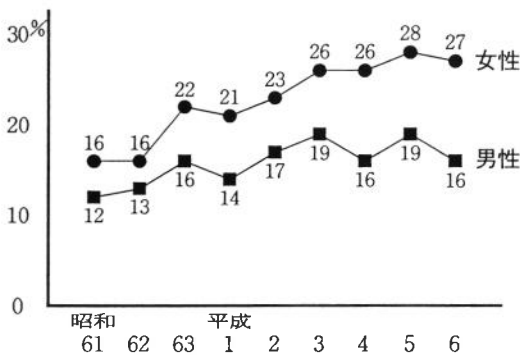
1. はじめに — 花粉症のシーズンがやってくる。花粉症や鼻アレルギーを含めたアレルギー疾患が急増したのは、昭和40年代から50年代(1965~75年)にかけてであり、抗原はスギ・ヒノキだけでなく、カエデ・ハンノキ・シラカバ・ニレ・カシ・クルミなどの木、イネ・ブタクサ・ヨモギ・カナムグラなどの草の花粉であり、DEP (diesel exhaust particulate) がアジュバントとして作用していると言われる。従って、花粉量は農村の方が多いが、花粉症は大都市の方が多ということになるらしい。

昨年は2月20日頃から患者さんが増え出したそうである。厚生省の研究班によると、花粉量が全国的に多くて、地域により前年の10倍から40倍あったとのことである。93年は冷夏で94年が猛

暑となり、全部のスギが沢山の花芽をつけ、95年の春に花粉が非常に多くなった。スギは2年周期なので今年は少ない年に当ると専門家は予測しているようだ。

2. 青梅市健康センター人間ドックAコースの昭和60年から平成6年度までの受診者延べ14,912人の問診表を年度別に調査すると、(図1)の如く「花粉症がある」という人の割合は増えつつある。女性の方が男性より多く、増加傾向も女性の方が明らかである。

(図1)「花粉症がある」という人の割合(%)



(表1)「花粉症がある」という人の割合(%)

年度	30才代		40才代			50才代			60才代			70才代			合計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		計
昭61	17	26	22	18	22	20	4	10	8	4	7	5	9	0	5	14
62	17	27	21	19	18	18	8	15	12	3	3	3	3	0	2	14
63	21	32	25	21	26	23	11	18	15	9	9	9	6	0	4	19
平1	19	29	24	16	29	21	16	14	15	5	8	7	7	0	5	17
2	26	31	28	22	28	25	12	20	16	10	12	11	6	0	4	20
3	28	40	33	23	31	26	17	21	19	8	13	10	5	0	3	22
4	18	38	26	20	30	24	21	24	22	5	13	8	0	6	2	20
5	31	42	35	20	34	26	18	25	21	11	11	11	4	11	6	23
6	25	36	30	18	39	27	16	23	19	9	13	10	2	7	4	21

3. 年度別・性別・年齢層別に「花粉症がある」という人の割合を比較すると(表1)の如く、女性では昭和61年度以来すべての年齢層で増加傾向が見られる。

男性でも30才代から60才代までは増加傾向が見られるが(40才代では平成4年度以来やや減少)、70才代はむしろ減少傾向にある。70才代女性には平成3年度まで「花粉症がある」という人がいなかったの、男女合計すると70才代は増減なしということになる。少数ながら(延べ人数男性22・女性19)80才代の人には、「花粉症がある」という人は1人もなかった。

平成6年度も女性の方が多く($X^2_s=32.477$)、若年者の方が多い。年長者ほど少ないのは、年をとると治るのか(治ったという人がどの位あるのか、調査してみたい。)、年をとると免疫機能が衰えてアレルギーが起りにくくなるのか。年をとっても花粉症になる人の免疫機能は衰えていないのか。(昔少なかったのは、寄生虫が多くて寄生虫によって生じる抗体のため、花粉によるアレルギー反応が抑えられていたためである、という説もあるようである。)

4. (表2)は花粉症発症年度の調査結果である。

昭和34年以前に花粉症になったという人は極めて少ない。やはり、昭和40年以後次第に増加し、昭和50年から急増し、昭和55年以後の5年間にピークに達している。

(表2) 花粉症発症年度(調査年度別)

調査年度 発症年度	昭61	62	63	平1	6	平6	
						男	女
昭25~29	2	1	0	0	0	0	0
30~34	0	1	1	0	0	0	0
35~39	2	4	2	2	3	2	1
40~44	4	9	10	13	9	3	6
45~49	9	12	28	27	34	13	21
50~54	48	52	54	52	41	12	29
55~59	93	79	94	91	100	51	49
60~平1	(19)	(31)	(75)	67	102	49	53
2~6	—	—	—	—	63	26	37
計	177	189	264	252	352	156	196

「花粉症がある」という人は累計なので平成2年以後も増えているが、発症した人は平成2年以来男女とも減少しているように見える。最近、新たに花粉症になる人が減っているのであろうか。

5. 平成6年度受診者1,702人の中から性別・年齢層別に花粉症を発症した年齢を調査したところ、(表3)・(表4)の如くなった。(次頁参照)

8才以前で花粉症になった人はなく、70才以後発症した人もなかった。

男女とも、30才代の方は20才代発症が最も多く、40才代の方は30才代発症が最も多く、50才代の方は40才代、60才代の方は50才代

発症が最も多い(70才以上の人は少数なので、傾向が不明)。というように、病歴10年以上の人は少なく、30年以上の病歴のある人はいなかった。従って、(表2)の如く昭和34年以前に発症した人はいないということになる。

6. まとめ —— 当人間ドック受診者の調査から、花粉症は女性の方が多く、若年者ほど高率であること、昭和34年以前はなく、10才以前、70才以後に発症した人はないこと、昭和40年代から急増し、今も増えつつある(ただし、最近発症する人に減少傾向が見られるのではないかと思われる)こと、病歴が10年以上の人は少ない(30年以上の人はなかった)ことを報告した。

(表3) 花粉症発症年齢 (男性)

現在年齢 \ 発症年齢	9才以下	10才代	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代	計
30才～	1人 (9才)	5	⑬	6	—	—	—	—	31
40才～	0	0	8	⑳	6	—	—	—	44
50才～	0	0	5	6	㉔	4	—	—	39
60才～	0	0	0	0	0	⑧	5	—	13
70才～	0	0	0	0	0	0	①	0	1
計	1	5	32	④②	30	12	6	0	128

(表4) 花粉症発症年齢 (女性)

現在年齢 \ 発症年齢	9才以下	10才代	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代	計
30才～	0人	3	⑮	13	—	—	—	—	32
40才～	0	3	29	⑳	15	—	—	—	80
50才～	0	0	4	16	㉔	5	—	—	45
60才～	0	0	0	1	4	⑩	2	—	17
70才～	0	0	0	0	1	1	1	0	3
計	0	6	49	⑥③	40	16	3	0	177

[注] ○はその年齢(現在年齢層)で最も多い数であることを示す。

第2木曜会 (医考会) 例会

日時：2月8日 午後7時30分

(但し、食事は7時からOK)

場所：バーミヤン (中華レストラン別室)

(羽村市役所通り栄町2丁目交差点)

会場は今後しばらくここでいきます。

1月の例会は、10名の先生方のご出席を頂きました。
大塚、上田、清水(2名)、木野村、村山、堀田、中村、
佐々木(章)、道又……順不同敬称略。

放談ということで話題はクルクル変わり文字通り談論風
発、瞬時にして2時間余りが経過いたしました。

当月のテーマは『互助会』よろしくお願ひ致します。

みちまた

お知らせ

事務局より お知らせ

3月（2月診療分）の
保険請求書類提出日
3月8日（金）
 — 正午迄です。 —

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
 毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
 ご相談下さい。

- ◎ 相談日 2月は14日（水）
 3月は13日（水）の予定です。
 - ◎ 場所 西多摩医師会館和室
 - ◎ 内容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、
 刑事に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎ 相談料 無料（但し相談を超える場合は別途）
 - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

平成8年度診療報酬請求書 提出日一覧表

平成8年度（平成8年4月～9年3月）各月の診療報酬請求書提出日は下記のとおりです。

平成8年	4月提出日（3月診療分）	4月8日 （月）正午まで
	5月提出日（4月診療分）	5月9日 （木）正午まで
	6月提出日（5月診療分）	6月8日 （土）正午まで
	7月提出日（6月診療分）	7月8日 （月）正午まで
	8月提出日（7月診療分）	8月8日 （木）正午まで
	9月提出日（8月診療分）	9月9日 （月）正午まで
	10月提出日（9月診療分）	10月8日 （火）正午まで
	11月提出日（10月診療分）	11月8日 （金）正午まで
	12月提出日（11月診療分）	12月7日 （土）正午まで
平成9年	1月提出日（12月診療分）	1月9日 （木）正午まで
	2月提出日（1月診療分）	2月8日 （土）正午まで
	3月提出日（2月診療分）	3月8日 （土）正午まで

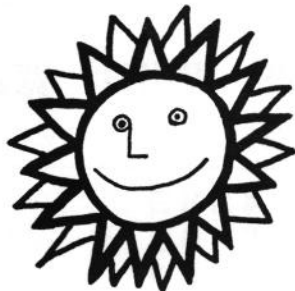
（注）整備委員会は同日午後開催いたします。

表紙のこぼ

西多摩の風景「青梅鉄道公園」

先日、九州でJRの技師をしている知人が上京した際、青梅鉄道公園を見たいと言うので訪ねました。案内には昭和37年に鉄道90周年を記念して開園された世界でも珍しい鉄道公園とあったので、地元生まれ育った会員にはお馴染みかもしれませんが、西多摩在住10年の私は、青梅駅の真裏の丘陵にSLファンには名の知れたこんな公園があることは迂闊にも知りませんでした。そこには文明開花の象徴として横浜、新橋間を走った『3号機関車』から、子供の頃私も乗った『D51』まで100年の時代を支えた歴代の蒸気機関車9輛や新幹線が展示されていました。軽薄短小の物質に囲まれて過ごしていると、この重厚長大な歴史的『建造物』には言い知れぬ感動を覚えます。これをどうやってこの山の上に運び上げたのか考えていましたら、その様子が館内に展示してありました。知りたい方は見に行ってください。ちなみに写真正面の機関車は満鉄を走っていたものだそうです。

玉木一弘



あとがき

去年は、天災、人災に明けくれた一年でしたが、今年はスペースシャトルエンデバーに日本人宇宙飛行士若田光一さんが乗り込み大活躍するなど、明るいニュースに日本もわき立ちました。「青い大気のパールにつつまれた地球は、暗黒の宇宙と対照的に美しく、この惑星が生きていることを感じました。」と、宇宙から地球を見た印象を若田さんはこう語っておられました。しかし、この美しい地球で、フランスや中国の核実験がいまも続けられており、又、ゴミで海を汚し、他の動物を絶滅に追いやっている私達人間はその地球に果してふさわしい生き物なののでしょうか。

地球上の全ての生き物、自然物を大切に、そして人間達が互いを信じ合い、話し合うようお願いしてやみません。まず、その第一歩として医師会からでも信頼や尊敬の輪を広げていただくと願ってやみません。

奥野 仁



社団法人 西多摩医師会

平成8年2月1日発行

会長 松原貞一 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 玉木一弘

石井好明 奥野 仁 片平潤一 小机敏昭

高水松夫 樋口昭夫 道又正達 山川淳二

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993



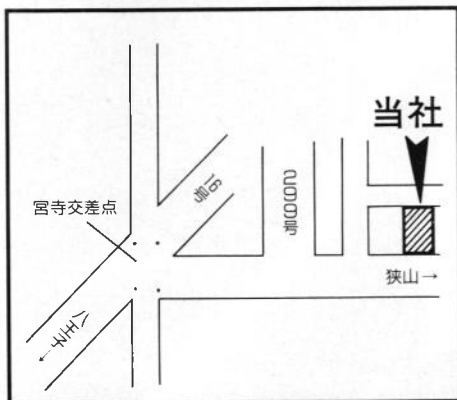
あさひ銀行

あなたの街の
あさひです。

- 東青梅支店 TEL.0428-22-2121(代) 〒198 青梅市東青梅2-17-4
- 奥多摩特別出張所 TEL.0428-83-2515(代) 〒198-02西多摩郡奥多摩町氷川1421
- 青梅支店 TEL.0428-22-1101(代) 〒198 青梅市青梅295
- 河辺支店 TEL.0428-24-2401(代) 〒198 青梅市河辺町10-2-9
- 福生支店 TEL.0425-51-1021(代) 〒197 福生市福生1048
- 村山支店 TEL.0425-61-1211(代) 〒208 武蔵村山市中藤4234
- 秋川支店 TEL.0425-58-2611(代) 〒197 あきる野市下代継111-5
- 羽村支店 TEL.0425-79-0881(代) 〒205 羽村市五ノ神4-13-10
- 五日市支店 TEL.0425-96-1311(代) 〒190-01あきる野市五日市840-1

健康と未来をみつめて!!

医療機関における各種検査、学校、事業所の検診
御利用の際は御連絡下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL 0429 (64) 2621

FAX 0429 (64) 6659

健康の輝きをひろげる。



株式会社 **ビー・エム・エル**

BML

本社・〒166 東京都杉並区高円寺南1-34-5 TEL.03-3316-0111(大代表)

総合研究所・〒350 埼玉県川越市の場1361-1 TEL.0492-32-0111(代)

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア

保健科学研究所

本社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1681(大代表)

仙台支社 〒983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-238-8345(大代表)